

平成28年度バイオマスプラスチックの二酸化炭素削減効果及び信頼性等検証事業 採択案件

別紙

事業名	代表事業者	共同実施者	事業期間	事業概要
芳香族系超高耐熱バイオマスプラスチックの二酸化炭素削減効果及び信頼性等検証事業	北陸先端科学技術大学院大学	筑波大学	3カ年	4-アミノ桂皮産を原料とした芳香族系超高耐熱バイオマスプラスチックにより、300℃程度以上の耐熱性が求められる自動車金属部材等を代替することで、軽量化によるエネルギー起源CO2削減を図る。具体的には、芳香族系超高耐熱バイオマスプラスチックの用途抽出、信頼性評価・改良、二酸化炭素削減効果の定量化、社会実装に当たっての課題抽出・方策提案を行う。
自動車の軽量化を目指したリグノフェノール部品の開発・実証	株式会社藤井基礎設計事務所	安井株式会社 株式会社松尾製作所	3カ年	木材から分離・化学変換されたリグノフェノールをポリカーボネート、フェノール樹脂等に混練し、これらの難燃性や寸法安定性等を向上させる。その上で、当該樹脂により自動車金属部材等を代替することで、軽量化によるエネルギー起源CO2削減を図る。具体的には、リグノフェノールを混練した樹脂の用途抽出、信頼性評価・改良、二酸化炭素削減効果の定量化、社会実装に当たっての課題抽出・方策提案を行う。

※上記は提案書に基づく内容であり、審査委員会の指示により変更が生じる場合があります。